

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### 大統領選挙をめぐる動き

・28日、キエフ行政控訴裁判所は、中央選挙管理委員会がティモシェンコ首相に出していた警告を取り消し。24日、ティモシェンコ首相はチェルニーゴフにおける活動中、公共交通機関職員等を違法に動員したとして警告を受けていた。

・28日、ヤツェニューク前最高会議議長は、大統領選挙後の首相就任を否定。

・29日、オヘンドフスキー中央選挙管理委員は、キエフ控訴行政裁判所の決定を不服として上告する方針を発表。

#### 世論調査

[FOM - ウクライナ]

・議会選挙の政党支持率

地域党:29%、BYT:14.8%、ブロック・チギプコ:6.2%、「変化の前線」:5.6%、共産党:5.1%、ブロック・リトヴィン:3.4%、「我々のウクライナ」3.1%

・調査は12月17日から22日にかけて、1,000名を対象に実施。

[社会・マーケティング調査SOCIS]

・大統領選挙支持率(一次)

ヤヌコーヴィチ地域党党首:30.1%、ティモシェンコ首相:16.7%、チギプコ元中銀総裁:7.2%、ヤツェニューク前最高会議議長:5.0%、ユーシチェンコ大統領:4.0%、シモネンコ共産党党首:3.1%、リトヴィン最高会議議長:2.7%

・大統領選挙支持率(二次)

ヤヌコーヴィチ地域党党首:42.2%、ティモシェンコ首相:29.9%

・12月9日から24日に、ウクライナ全土で10,000名の成人を対象に実施。

[キエフ国際問題研究所]

・大統領選挙支持率(一次)

ヤヌコーヴィチ地域党党首:30%、ティモシェンコ首相:16%、チギプコ元中銀総裁:7%、ヤツェニューク前最高会議議長:4%、ユーシチェンコ大統領:3.5%、シモネンコ共産党党首:3%、リトヴィン最高会議議長:2.5%

・大統領選挙支持率(二次)

ヤヌコーヴィチ地域党党首:43%、ティモシェンコ首相:29%

・調査は12月12～24日の期間に4,074名を対象に実施。

### 2. 経済

#### 金融・財政

・29日、閣僚会議は財務省に対し、2010年1-2月にかけて大統領選挙のために9億6969万グリブナを割り当てるよう閣僚会議令で指示。

・30日、IMFはウクライナの国際支払い準備高を20億ドル減額することに合意。これにより、ウクライナ政府は現存の準備金を用いてガス代を含む外部への支払いを実施することが可。

#### ガス問題

・17日、ウクライナ燃料エネルギー省は、2009年の11ヶ月でウクライナ領を通過し輸送された天然ガスは850億立方メートルとなり、2008年の同時期と比較し、249億立方メートル、すなわち22.7%の減少と発表。

・30日、クプリヤノフ・ガスプロム公式代表は、ロシアのウクライナに対する天然ガストランジット料金は、2010年には1千立方メートルあたり2.7ドルとなり、2009年の1.7ドル/1千立方メートルと比較し、58.8%の上昇との見通しを発表。

#### その他

・28日、国家統計委員会は2009年11月の実質賃金は前年同月比5.8%の減少と発表。なお、名目賃金は7.8%増加。

・29日、コストリツァILO調整官はウクライナにおける雇用の増加と失業率の減少が2009年第3四半期のペースで続けば、2年半で危機前の雇用レベルに回復すると発言。

・29日、ティモシェンコ首相は2012年までに独自の核燃料サイクルを実施し、核燃料の輸入をやめると発言。閣僚会議は同関連予算として2010年度に5億9699万2000グリブナを要求。

・30日、国家電力規制委員会はバイオマス発電による電力に対する買取料金を1月より設定し、1kWhあたり142.07コペイカと規定。

・31日、ウマンスキー財務大臣代行は2009年1-11月期の財政赤字額は161億4300万グリブナと発表。

### 3. 外政

▼2010年のウクライナ外交優先事項(30日ポロシェンコ外相会見)

EU加盟路線。特にウクライナEU協力協定交渉(自由経済ゾーンを含む)の年内完了。航空機航路のEUとの共同利用、クリミア自治共和国経済社会発展に関するEUとの共同プロジェクトの実施。

ガス輸送網近代化パイロット投資プロジェクトの開始。

NATO加盟及び同問題に関する国民への広報。

ウクライナの国家安全保障強化に向けた英、中、露、米、仏との合意文書作成交渉活性化。

戦略的パートナーとの二国間関係強化。特に露(国家間ハイレベル対話の復活)、米(優先協力事項の実施)、ポーランド(優先協力事項の実施)。

ウクライナ国籍保有者向けの長期査証無料化(リトアニア、ラトビアとは協定締結済み、エストニアとは締結交渉中、ポーランドとは合意済み、ハンガリー及びスロバキアとは交渉中。)

2010年にGUAM議長国、2011年5～11月に欧州評議会閣僚委員会議長国。

国連との協力、国連平和維持活動への参加拡大。

国境画定作業(2010年にベラルーシ及びモルドバとの国境画定作業終了。沿ドニエプル地域のウクライナ・モルドバ国境の画定は近日中に開始予定。ロシアとの陸上部分及び黒海、アゾフ海、ケルチ海峡の水域確定作業も開始予定。)

▼30日、ウクライナ・ロシア国境線画定作業に関する

ポロシェンコ外相発言

・「2010年の早い時期に、陸上及び海上を含む両国国境確定作業を実施することを期待。ウクライナはロシア船舶によるケルチ海峡の円滑な通過を無期限で認める用意がある。その代わり、同海峡の国境線画定を開始しなければならない。」

#### 4 . 防衛

海賊による拿捕

・28日、2名のウクライナ人乗員及び3名のロシア人乗員を含む26名を載せた英国籍タンカー「St James Park」がソマリ沖で海賊に拿捕。

・29日、タンカー「St James Park」の運行会社は、海賊と開放交渉を開始。

・31日、ウクライナ外務省は、10月以降コンゴ共和国のMatadi港に拘留されている「Island of Luck」の状況調査のため、外務次官の派遣を検討と発表。

(了)